

プレスリリース

2026年1月30日  
トレモロ

ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラム “KIPPU”  
トレモロ 第5回本公演『コリオレーナス』

トレモロが描くシェイクスピアの名作  
古代ローマの政治劇から、現代社会を生きる私たちを見つめる  
ひとりの英雄をめぐる、相反する視線の物語



日程:2026年3月13日(金)～15日(日)  
会場:ロームシアター京都 ノースホール

## 【企画概要】

代表の早坂彩が演出を行うカンパニー「トレモロ」は、ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラム “KIPPU” の採択作品として、第5回本公演『コリオレーナス』（作：W・シェイクスピア／翻訳：小田島雄志／演出：早坂彩）を、2026年3月、ロームシアター京都 ノースホールにて上演します。

舞台は紀元前5世紀、共和政下の都市国家ローマを舞台に描かれるシェイクスピア後期の政治悲劇。

圧倒的な武勇を誇る将軍コリオレーナスは、国家の危機を幾度も救ってきた。一方で彼の直情的な性情は、民衆や政治家との緊張を生み、彼の運命を大きく揺さぶっていく。

コリオレーナスは、「腐敗したローマの指導者層の代表」なのか、もしくは「機能不全を起こした民主主義と戦う強力なリーダー」なのか。

母、妻、同僚、被支配者、宿敵、様々な立場から捉えられるコリオレーナスの姿は多様である。

立場によって全く異なる像を結ぶこの人物を通して、人は一つの物事・人物に対して相反する意見を持ちえ、異なる思想を持っている人たちとも隣り合わせに生きていかなくてはならない社会の現実を浮かび上がらせます。

本作では、シェイクスピアが書いた後期の悲劇作品『コリオレーナス』を通して、ローマの時代から変わらないこの事実を見つめ、現代の日本の政治/社会を俯瞰します。

関西に拠点を移したトレモロが、京都で制作・発表する最新作。

多くのシェイクスピア作品を演出してきた演出家・早坂彩がロームシアター京都に登場します。

## 【演出コメント】

SNSが大きな発信力を持つようになった現在、政治・選挙における情報発信・受容の在り方の大きな変化を感じています。

一人の人物をめぐる、意見が真っ二つに割れる選挙や、SNS上でのフェイクの拡散、情報の切り取り、匿名での誹謗中傷が溢れることを実感するなかで、『コリオレーナス』の上演を決めました。

紀元前5世紀のローマを舞台にした『コリオレーナス』には、これらの諸問題がそのままに描かれています。

悪意や見せかけの華やかさに目がくらんでいないか、本質を見失っていないか、本作が現代社会への静かな警鐘になることを願って上演に努めます。（早坂彩）

## 【作品について／あらすじ】

『コリオレーナス』は紀元前5世紀のローマを舞台にした悲劇である。四大悲劇よりも後に書かれた、シェイクスピア後期の悲劇とされている。

コリオレーナスは武勇に優れ、都市国家ローマの危機を何度も救ってきた。

一方で、市民を馬鹿にしたような態度や直情的な性情に対して、市民から反発を買っていた。コリオレーナスを貴族の最高位＝執政官に任じるかを巡り、市民の意見は大きく揺れ、コリオレーナスはローマを追放される。

追放後、コリオレーナスは敵軍に加わり、ローマへの復讐を誓い、ローマへ攻めのぼる。

かつての仲間の願いにも決意を変えなかったコリオレーナスだったが、母と妻の懇願によって、ローマと和議を結ぶことを宣言する。

コリオレーナスは裏切り者として、無惨に殺されることとなる。

## 【公演概要】

ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラム “KIPPU”  
トレモロ 第5回本公演『コリオレーナス』

### ▶公演日程

2026年3月13日(金)～ 3月15日(日)

13日(金) 19:00

14日(土) 13:00／17:00

15日(日) 13:00★

受付開始は開演の45分前、開場は開演の30分前を予定しています。

★託児あり。詳細・お申込はロームシアター京都WEBページをご確認ください。

### ▶会場:ロームシアター京都 ノースホール

(〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13)

#### [アクセス]

- ・京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車1番出口より徒歩約10分
- ・市バス32・46系統「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
- ・市バス5・86系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分
- ・市バス31・201・202・203・206系統「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約5分

### ▶出演:

丸山港都(東京夜光)、天明留理子(青年団)、鷹野梨恵子(イエローヘルメッツ)、  
村尾オサム(遊劇体)、豊島祐貴(プロテアトル)、田淵詩乃、樋口圭佑、村山恵美、  
高岡諒一(劇団俳優座)、毛利あかり(原脈)、大間知賢哉、北條泰成、肉戸恵美(劇団未来)

### ▶スタッフ

作:W・シェイクスピア、翻訳:小田島雄志、演出:早坂彩

舞台監督:中西隆雄、三津田なつみ、舞台美術:中村友美、照明:松本永(eimatsumoto Co.Ltd.)、音響:森永恭代、衣装:大野知英、宣伝美術:荒巻まりの、演出助手:片山寛都、制作:渡邊裕史

協力:合同会社nochi、飯塚なな子、助成:芸術文化振興基金助成事業

共催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市

主催:トレモロ

関西シェイクスピア・フェスティバル参加作品

ロームシアター京都  
ROHM Theatre Kyoto



---

▶チケット(発売中)

全席自由

一般(前売):4,000円 一般(当日):4,500円

アンダー25:2,500円(前売・当日共)

応援チケット:6,000円(前売・当日共)

※アンダー25チケットは、公演当日に受付にて年齢が確認できる証明書(学生証、免許証等)をご提示ください。

※応援チケットは『コリオレーナス』の創作と、今後の活動を応援してくださる方向けのチケットです。

▶チケット取扱

●Corich

<https://ticket.corich.jp/apply/412484/>

●ロームシアター京都 オンラインチケット

24時間購入可 ※要事前登録(無料) <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

●ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL.075-746-3201(窓口・電話とも10:00～17:00／年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)

●京都コンサートホール チケットカウンター

TEL.075-711-3231(窓口・電話とも10:00～17:00／第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

●京都芸術センター 事務所窓口(10:00～18:00)



## 【プロフィール】

### ▶トレモロ

2010年結成。代表の早坂彩が演出を行うカンパニー。

利賀演劇人コンクール2015『イワーノフ』にて、演出の早坂が優秀演出家賞・観客賞を受賞。

「第一期 身体と音楽のトレモロ」「第二期 台詞と空間演出のトレモロ」を経て、この先の第三期では、「自由に、開いて、場作りを進めるトレモロ」をテーマに、これまでの創作スタイルを融合した、より強度の高い作品作りを目指している。その第一歩として、SCOTサマー・シーズン2022と豊岡演劇祭2022にて『新ハムレット』を上演。2024年、同作の再演ツアーを、京都（THEATRE E9 KYOTO）、東京（こまばアゴラ劇場）の二都市で行った。

2023年、演出の早坂の兵庫県西宮市への移住をきっかけに関西と東京の二拠点での創作活動を開始。2024年6月、第5回本公演として、ウイング再演大博覧会2025トレモロ『Port-見えない町の話をしてよう-』を上演。今後は関西での活動に力を入れていく。

サイト：<https://ayahayasaka.amebaownd.com/>



（『新ハムレット』写真：井上嘉和）

### ▶早坂彩

演出家/脚本家。現在、兵庫県神戸市在住。

早稲田大学文学部演劇映像コース演劇系卒業。同大学院文学学院文学研究科演劇映像学専修（西洋演劇）修了。

2010年、トレモロ結成。以降、全ての公演の演出を担当。

A・チェーホフ、T・ワイルダー、W・シェイクスピア等、翻訳劇の上演を多く手がける。

2015年、利賀演劇人コンクール『イワーノフ』にて、「優秀演出家賞」「観客賞」受賞。

2017年、劇団青年団入団。翻訳劇から、現代口語、SF、ミュージカルまで幅広く演出を行う。

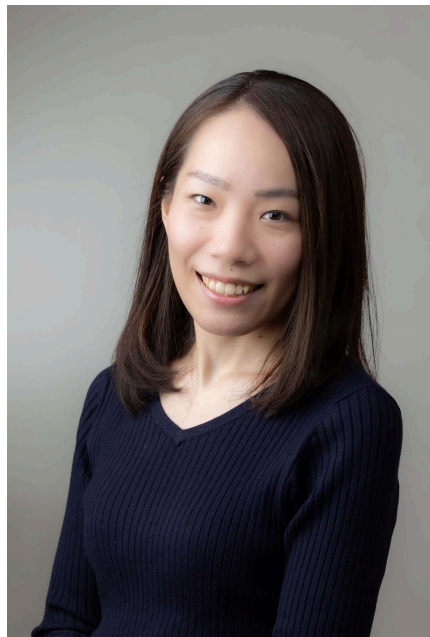
2022年、SCOTサマー・シーズン2022×豊岡演劇祭2022『新ハムレット』演出。

2023年、日韓演劇交流センター『寂しい人、苦しい人、悲しい人』演出。

2024年3月、トレモロ『新ハムレット』演出。こまばアゴラ劇場とTHEATRE E9 KYOTOで二都市ツアーを敢行。

CoRich舞台芸術まつり!2024春 最終審査作品に選出される。

2025年6月、ウイング再演大博覧会2025トレモロ『Port-見えない町の話をしてよう-』演出。



演劇の可能性を開く場作りを志向しており、コロナ禍（2020年）より、「Zoomで戯曲研究会」を企画。オンラインでシェイクスピア戯曲を読む会を継続開催中。演劇を媒介とした場作り、コミュニケーションデザインを試行している。

高校生との作品作りにも多く取り組む。過去の上演作品として『ロミオとジュリエット』『夏の夜の夢』『ラーマーヤナ』などがある。

## 【本件に関するお問い合わせ】

トレモロ

tremolo.c.26@gmail.com

公式Web: <https://ayahayasaka.amebaownd.com/>

公式X: [https://x.com/tremolo\\_c](https://x.com/tremolo_c)

資料請求や取材、稽古場見学など、なにかございましたら、お気軽に上記までお問い合わせください。

公演チラシ・過去公演写真のダウンロードは[こちらから](#)



舞台は紀元前5世紀、共和政下の都市国家ローマ。  
将軍コリオレーナスは、圧倒的な武勇でローマの危機を救ってきた。  
一方で彼の直情的な性情は、民衆や政治家との緊張を生み、彼の運命を大きく揺さぶっていく。  
コリオレーナスは、「腐敗したローマの指導者層の代表」なのか、もしくは「機能不全を起こした民主主義と戦う強力なリーダー」なのか。  
シェイクスピアが晩年に書いた悲劇『コリオレーナス』。  
関西に拠点を移したトレモロが、京都で作り、発表する最新作。

2026/3/13 fri → 3/15 sun  
13 fri → 19:00  
14 sat → 13:00 / 17:00  
15 sun → 13:00 \*

受付開始は開演の45分前、開場は開演の30分前を予定しています。  
\*＝託児あり、詳細・お申込はローマシアター京都 WEB ページをご確認ください。

**ローマシアター京都 ノースホール**  
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町 13

アクセス  
京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車 1 番出口より徒歩約 10 分  
市バス 32・46 系統「岡崎公園」ローマシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ  
市バス 5・86 系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約 5 分  
市バス 31・201・202・203・206 系統「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約 5 分

【チケット料金】  
一般（前売） 4,000 円 / 一般（当日） 4,500 円  
アンダー 25 2,500 円（前売・当日共）  
応援チケット 6,000 円（前売・当日共）  
※「コリオレーナス」の製作と、今後の活動を応援していただく方向けのチケットです。  
○アンダー 25 チケットは、公演当日に受付にて年齢が確認できる証明書（学生証、免許証等）をご提示ください。  
○未成年者入場不可。  
○車椅子席をご希望の方、介助者同伴の方は、下記、お問合せ先までご連絡ください。

【チケット取扱】  
● Corich  
<https://ticket.corich.jp/apply/412484/>  
● ローマシアター京都 オンラインチケット  
<https://www.s2e-get.jp/kyoto/pt/> (24 時間購入可) ※要事前登録 (無料)  
● ローマシアター京都 チケットカウンター  
☎ 075-746-3201 (窓口・電話とも 10:00～17:00 / 年中無休)  
※臨時休業日等により変更の場合あり  
● 京都コンサートホール チケットカウンター  
☎ 075-711-3231 (窓口・電話とも 10:00～17:00 / 月・1・3 月曜日休業)  
※休日の場合は翌日  
● 京都芸術センター (京都市南区 10:00～18:00)

チケット一般発売日: 2025 年 12 月 15 日 (月) 10:00～  
チケット先行発売日: 2025 年 12 月 8 日 (月)  
※年会費: 京都コンサートホール・ローマシアター京都 Club、京電友の会、サポーター・パートナー会員 (最速先行予約や一部割引適用等の特典あり) の詳細は QR コードより

【問い合わせ先】  
トレモロ ✉ tremolo.c.26@gmail.com ☎ 080-5602-5447 (制作)

作: W・シェイクスピア / 翻訳: 小田島雄志 / 演出: 早坂 彰 / 舞台監督: 中西隆雄、三津田なつみ / 舞台美術: 中村友美 / 照明: 松本 永 (einatsumoto Co.Ltd.)  
音楽: 森永恭代 / 衣裳: 大野知宏 / 宣伝美術: 荒巻まりの / 演出助手: 片山寛都 / 制作: 渡邊裕史  
主催: トレモロ / 共催: ローマシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター (公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市  
協力: 合同会社 nochi、飯塚なな子 / 助成: 芸術文化振興基金助成事業  
関西シェイクスピア・フェスティバル参加

出演  
丸山 港都 (東京役)  
天明 留理子 (青年)  
鷹野 梨恵子 (イロ・ヘルマツツ)  
村尾 オサム (創作)  
豊島 祐貴 (プロトアトル)  
田渕 詩乃  
樋口 圭佑  
村山 恵美  
高岡 諒一 (劇団修善寺)  
毛利 あかり (劇団)  
大間 知賢哉  
北條 泰成  
肉戸 恵美 (劇団未也)

トレモロ  
2010 年結成。代表の早坂彰が演出を行うカンパニー。  
結成初期 (2010 年～2015 年) は、音楽と身体を使って、翻訳劇を独自の技法で作り上げる作劇を特徴とし、作品作りを行ってきた。WilWilWilder!2010 参加「フランスの女たち」「Happy Journeys」「恋煩いの直し方」などの T・ワイルダー作品、「ハムレット」「リア王」などの W・シェイクスピア作品などを意欲的に上演。オリジナルミュージカルの制作にも挑戦し、2012 年、ミュージカル『Melancholia』では、20 名の女性キャストと作品を作り上げた。  
2015 年、利賀演劇人コンクール 2015『イワノフ』にて、演出の早坂が優秀演出家賞、観客賞を受賞。戯曲の本質を掴んだ観客への取り組みが始まる。その後、別役作品『もう一人の駒子』『正午の伝説』『寝られます』を続けて上演。テキストと空間演出の巧みさを評価される。  
2023 年、演出の早坂の兵庫県西宮市への移住をきっかけに関西と東京の二拠点での制作活動を開始。今後は関西での活動に力を入れていく。  
<https://ayahayasaka.amebaownd.com/>  
[https://x.com/tremolo\\_c](https://x.com/tremolo_c)



撮影: 井上直和

早坂 彰  
演出家 / 脚本家。現在、兵庫県神戸市在住。早稲田大学文学部演劇映像コース演劇系卒業。  
同大学院文学部演劇文学研究科演劇映像専修 (西洋演劇) 修了。  
2010 トレモロ結成。以降、全ての公演の演出を担当。A・チェーホフ、T・ワイルダー、W・シェイクスピア等、翻訳劇の上演を多く手がける  
2015 利賀演劇人コンクール「イワノフ」にて、「優秀演出家賞」「観客賞」受賞  
2017 創団 10 周年記念。翻訳劇から、現代口語、SF、ミュージカルまで幅広く演出を行う  
2020 コロナ禍より、「Zoom」で戯曲研究会」を企画。オンラインでシェイクスピア戯曲を読む会を継続開催中。演劇を媒介とした場作り、コミュニケーションデザインを試行している  
2022 SCOT サマー・シーズン 2022・豊岡演劇祭 2022「新ハムレット」演出  
2023 日韓演劇交流センター「寂しい人、寂しい人、寂しい人」演出  
2023 八王子市文学部都市文化ふれあい劇場「夏の夜の夢」演出  
2024.3 トレモロ「新ハムレット」演出。こまばアゴラ劇場と THEATRE E9 KYOTO で二都市ツアーを敢行。CoRich 舞台芸術まつり! 2024 春 最終審査作品に選出される  
2025.6 ウイング再演大博覧会 2025 トレモロ「Port- 見えない町の話をしよう」演出

ローマシアター京都  
ROHR Theatre Kyoto

KYOTO ART CENTER